



喜多 堊

紀子様ご懐妊

先月七日、宮内庁の羽毛田信吾長官は秋篠宮文仁親王妃紀子殿下のご懐妊を正式に発表されました。皇室典範改定の論議の真つ只中でのこの発表は、やはり大神さまの御神意のあらわれかと、皇室を象徴と仰ぐ国民の一人として心より嬉しく思いました。

しかし、宮内庁よりの正式発表がある前に、マスコミに情報が流され、天皇皇后両陛下はもとより、秋篠宮殿下までもが、テレビを通じてお知りになられたという報道を耳にして、大変おかしな話と感じます。

以前、皇太子妃雅子殿下もご懐妊が判明された折、内部機密であるはずのご懐妊情報が、正式発表前に報道され、近い者の中にマスコミに通じ、機密であろうと流す佞臣がいた事実に変なシヨックをお受けになられ、そのストレスから流産という悲しい結果を招いた事は記憶に新しいところです。

皇室典範の改定という未曾有の事態に、皇室の伝統を慮ってマスコミへ情報を早くに流し、流れを変えようとした者がいたのかも知れません。しかし、母体であられる紀子さまへの心身の負担を考慮しなかつたその浅はかさ、憤りを禁じえません。

皇室の大事を思うのであれば、皇位の行方も気になるでしょうが、まずは人としての当たり前の心遣い。これをなくして、報道は有り得ないのではないのでしょうか。先の不幸の轍を踏む愚だけは冒さぬようひとりひとりの心遣いが大切な時期であらうと思います。

今冬は寒い日が続き、早咲きの梅ですらつぼみ固く、中々咲きませんでした。先月末からようやくその花を開き始めました。

うつくしや 紅の色なる 梅の花

あこが顔にも つけたくぞある

道真公が五歳の折に詠まれた和歌と伝えられています。意味としては、「美しい紅梅の紅を私の顔にもつけたいな。」という純真な子供らしい内容です。おそらく、お母上様の紅化粧を見て考えつかれたのかもしれませんがね。

昨今は母と子の問題が大変多いですが、時にはご自身のお母さんを誘って観梅の孝行をされてみてはいかがでしょう。

当神社御本社（北区神山町）にも数は少ないですが梅樹が花を咲かせています。また、京都の北野天満宮、九州の大宰府天満宮、大阪では大阪天満宮、道明寺天満宮、大阪城梅林などが三月初旬から中旬にかけて見頃です。詳しくは各所受付にお問い合わせください。

公式サイト史料集

この度、公式サイトにテキストデータ化した文献史料を記載しました。当神社の記述がある史料を現代仮名でご紹介しております。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ボーダフォン
ez web 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀知

